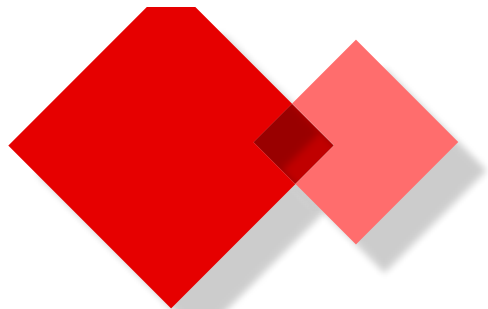




自治体向けCM普及webセミナー

2022.5.20 (金) 16:10 ~

創立 20 周年
発注者の一番近くに
CMr があります



沖縄アリーナ建設工事CM業務

～ECI方式を活用した

地域振興と防災機能を併せ持つ、日本初の“魅せる”アリーナ～

講演者： 沖縄市 企画部 プロジェクト推進室 高江洲 光
日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社 江原 奨



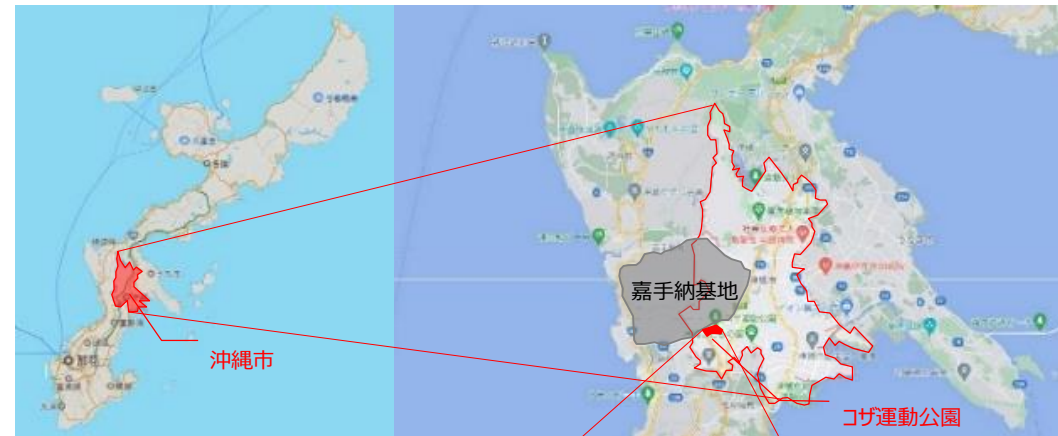
事業の背景・特徴

背景

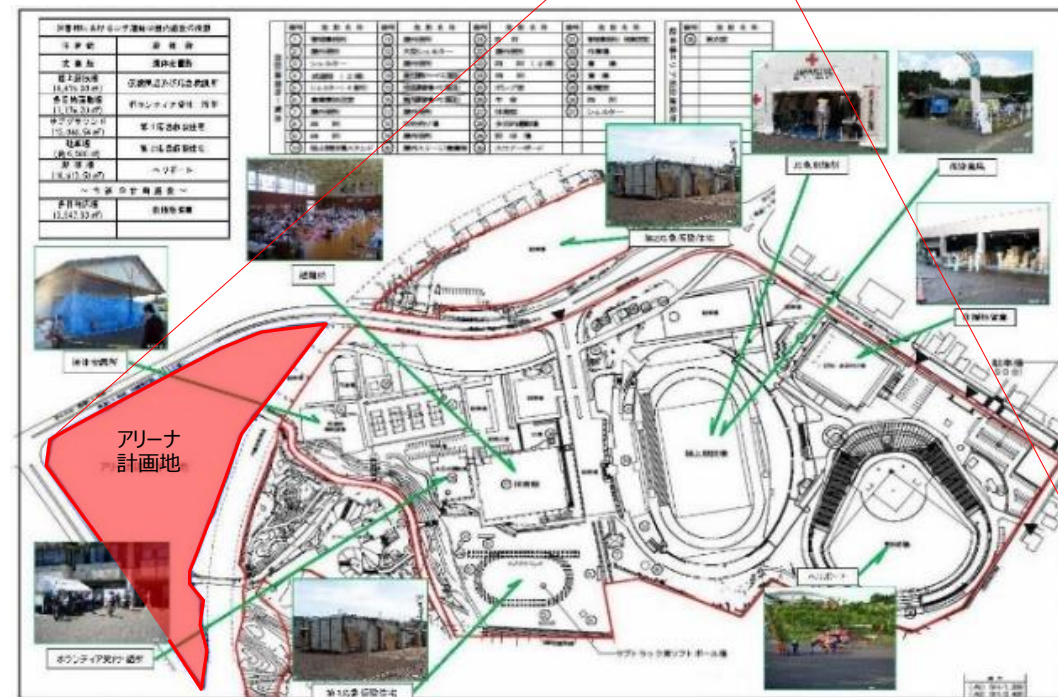
- ①観光産業を発展させ、他地域と差別化が図れる
スポーツコンベンションの推進などによる来県者の
交流および地域振興の拠点の創出
(2023年FIBAワールドカップ予選ラウンド招致)
- ②県内に多くの基地を抱える現状等も考慮しての
航空機事故や自然災害等に備えた防災拠点の実現
- ③事業実現における主要官庁補助金の最大限の活用

特徴

- ①沖縄県内公共事業において、ECI方式やCM方式を
初めて採用
- ②ホスピタリティの充実やエンターテインメント性を
考慮した魅せるアリーナ
- ③収益性向上を考慮した365日稼働できる施設計画
・運営計画



沖縄市、嘉手納基地、コザ運動公園の位置と規模感



コザ運動公園の防災機能は、近隣の基地災害も考慮されている



事業概要

プロジェクト概要

所在地	沖縄県沖縄市（コザ運動公園）
CM参画時期	実施設計段階～運用開始段階
業務期間	2017年1月～2021年3月
CM事業者	日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社 株式会社総合計画設計（地元企業）
設計者	梓設計・創建設計・アトリエ海風JV
施工者	鹿島・仲本・太田・富建JV



計画概要

敷地面積	約218,100m ²
建築面積	約11,050m ²
延床面積	約27,700m ²
建物用途	観覧場 大規模集客施設 (最大約10,000席)
構造／階数	鉄骨造／地上6階





	2016年						2017年						2018年						2019年						2020年						2021年																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11	1	3	5	7	9	11																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
イベント			CM業務委託募集公告▼				▼CM業務委託者選定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							</



本日は説明のテーマ

1. ECI方式導入のねらい、導入までの経緯

ECI方式導入の目的、導入における庁内等の調整方法

2. CM方式導入のねらい、導入までの経緯

CM方式に何を期待し、導入における庁内等の調整方法

3. 事業におけるECI方式導入・CM方式導入の効果

- 夢のアリーナを実現するチームとメンバー構成(輻輳する情報の連携)
- 多岐にわたる関係者の立ち位置や優先項目への対応
- 施設計画のマインドチェンジの着実な共有と遅滞ないプロジェクト推進
- コスト・品質・地域貢献を実現する備品発注戦略



ECI方式導入のねらい・背景

①基本設計時に算出した建設コストの削減及び工期短縮

- ・技術提案やVE提案の他、施工性等の観点からの助言を早期および実施設計期間中から受ける

②実施設計発注前当時の国内の建設業界の動向への対応

- ・東日本関連復興事業や2020東京五輪に向けたインフラ整備などによる建設需要の高まりが顕著であった

DB方式・ECI方式の選択

- ・特殊施設の設計を行う設計者の採用が必須である一方、建設資材及び建設作業員の早期確保が重要であると認識し、設計段階から施工予定者が関与できるECI業務が有効であると判断した。

ECI方式の採用における合意形成

- ・全国的にも前例の少ない業務であり、委託費の計上に当たっては、財政部局や市議会から問い合わせもあったが、建設コスト削減のための有用性や工事入札の不調防止等のメリットを訴え、発注の実現に至った。

財務部局・市議会からの問合せ内容

- ・ECI業務の採用理由と効果
 - ・従来方式との経済性の比較
 - ・県内外での採用事例の確認
 - ・市内業者での受注対応の可否
- 協議・調整期間

- ・約半年間
 - ・全体計画策定（H28.6月以降）
- ～委託料補正計上（H28.12月議会）

(1) 第7018号 (本日6ページ) (c)2016 沖縄建設新聞 2016年(平成28年)11月29日 火曜日

——日刊建設ニュース——

沖縄建設新聞

発行所 (株)沖縄建設新聞社
沖縄県那覇市泊3-5-6 2F
電話 (098) 868-1056 代
FAX (098) 868-1275
発行日 月～金曜日(土・日・祝祭日を除く)

http://www.okitel.com/ E-mail: nikkans@okitel.com

※掲載記事・内容の無断転載・複写を禁じます※

ECI方式などアリーナ発注方式を検討

年度内に設計者を特定へー沖縄市

沖縄市プロジェクト推進室は28日、コザ運動公園内に計画している(仮称)沖縄市多目的アリーナ施設の事業説明会を庁舎内大ホールで開催し、施設概要や発注方法等について説明を行った。整備事業者の選定に向けて実施したもので、設計者や施工業者ら73社程度が参加。発注方式は、①市が設計業務、工事を発注する従来の発注方式のほか、②設計と施工を一括発注するデザインビルド方式、③設計の段階から施工実施を前提とした施工者から技術協力を得るECI方式(技術協力・施工方式)の3方式が検討されており、市では、発注方式決定後、事業者の選定作業に着手し、年度内にも実施設計業務を担う設計者若しくは整備事業者を特定する予定。また、工事については、順調に行けば平成29年度から現野外ステージの解体工事に着手。その後、順次本体着工し、32年度の供用を目指す。

計画によると、施設の規模は、RC一部S造5階建て・建築面積約9,900㎡・延床面積約2万6,200㎡程度を想定。施設内には客席数約9,600席(仮設含む最大客席数：約1万1,000席)を有するメインアリーナをはじめ、サブアリーナ、コンコース、テナントスペースなどを配置するほか、屋外部分に約1,000台収容の駐車場を整備する予定になっているが、規模や配置計画など詳細は実施設計業務の中でまとめる。建設場所は同運動公園(諸見里2-1-1・敷地全体22万9,500㎡)内の西端部にある現野外ステージ付近となっている。

多目的アリーナは、琉球ゴールデンキングスからプロバスケットボールの公式試合を中心に、フットサルなどの屋内スポーツ興行や各種コンサート、コンベンションの開催が可能な多目的アリーナを新設するもの。また、災害発生時には防災拠点施設として活用する計画。全体計画調査業務は機設計・創設計事務所・アトリ工海風JVが担当。税抜の概算事業費(案)は本体工事が135億7,184万4千円、その他関連工事(外構・用地費等)22億8,465万9千円を見込む。

福地川橋他1橋の床版取替を公告

高速道路更新事業-NEXCO西日本

西日本高速道路株式会社(NEXCO西日本)は28日、沖縄自動車道福地川橋(上り線)他1橋床版取替工事の一般競争入札を公告した。金武IC～宜野座IC区間の福地川橋(上り線)と宜野座IC～許田IC区間の湖辺底橋(下り線)を対象に、劣化したRC床版をプレキャストPC床版に取替えるもので、詳細設計一式と床版取替約5,200㎡(うちプレキャストPC床版約4,000㎡)、舗装工約5,300㎡を実施する。工期は720日間。使用資材はコンクリート約1,500m³、鉄筋約300t、PC鋼材約47,000kg、アスファルト合材約1,000tなど。12月19日に申請書等提出を締め切り、2月14日に開札して施工業者を決定する。

同社では、高速道路の更新を昨年度から15年計画で進めており、老朽化した道路構造物の大規模更新・修繕を行っている。沖縄自動車道では今回の床版取替え工事のほか、那覇IC～石川IC間土質調査検討業務(簡易公募型)も公示する予定で準備中。



CM方式導入のねらい・背景

①事業推進における市職員の量的補完

- ・本市において過去に類をみない施設規模・用途であるアリーナ建設を進めるに当たり、相応の技術・経験を有する職員が発注者側に足りていなかった。

②設計および施工における市職員の技術支援

- ・国内大手の設計者及び施工者と対峙するうえで、デザインや工法、費用面の妥当性及びバランス等の判断に資する技術的補佐が必要であった。

CM方式の採用における合意形成

- ・ECI業務同様に前例が少なく、予算化に当たっては、財務部局や市議会から度々説明を求められましたが、大型かつ高度技術な建設事業である特殊性を訴え、発注の実現に至った。
- ・財務部局や市議会からの問合せ内容はECI方式に対する問合せと同様であり、調整も同時期に行ったため、約半年を要した。

CMrへの要求事項

■プロジェクトの進捗管理

- ・設計業務、発注者・実施設計者・施工予定者で行われる会議、委員会等設計期間中の様々な業務
- ・プロジェクト全体の進捗管理

■施工予定者選考支援・委員会運営支援

- ・発注者の支援として、施工予定者の選考に際し、評価基準の作成
- ・応募者からの提案受領後、提案書に基づく資格審査及び技術的な評価
- ・施工予定者の選考に際し、学識経験者の参加する委員会の設置、運営支援

■技術アドバイザリー業務

- ・発注者・実施設計者・施工予定者で行われる会議に向け、それぞれの資料等を確認し、発注者の判断に資する技術的補佐
- ・発注者が必要とする説明資料の作成



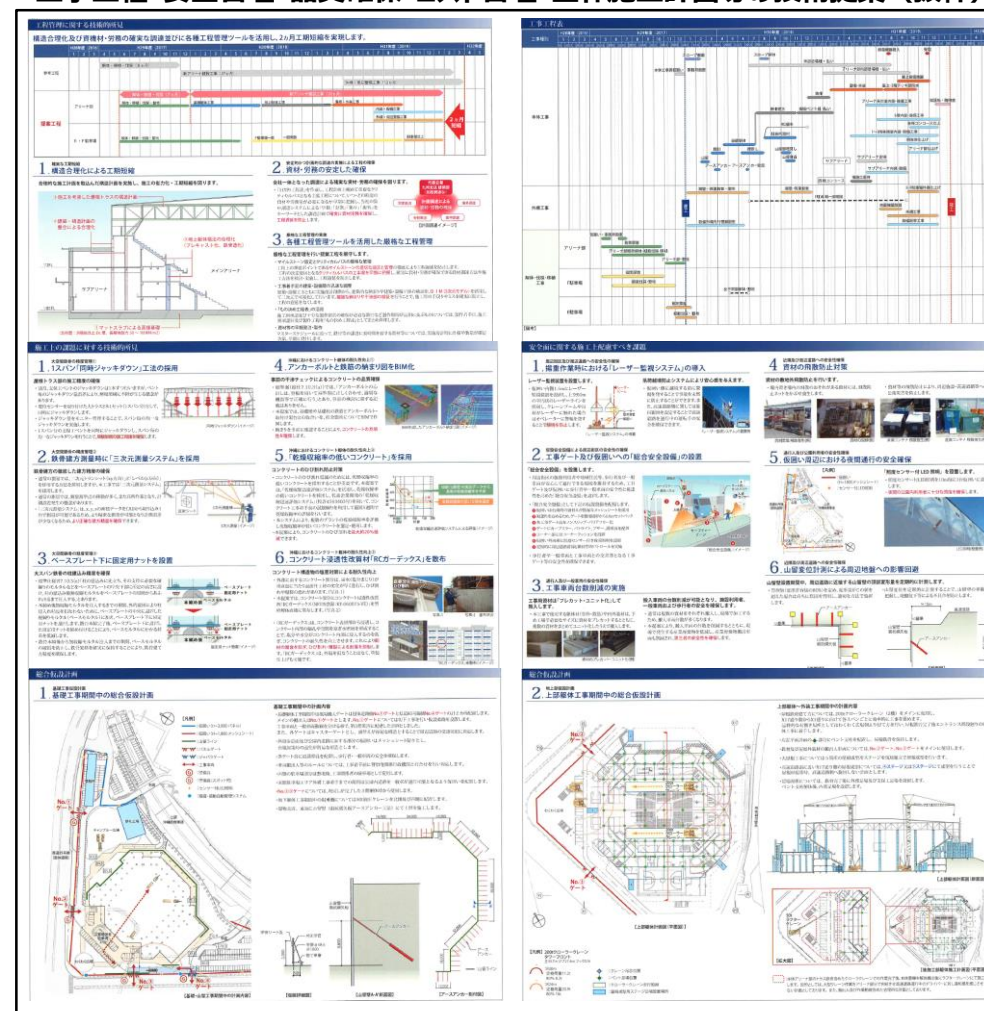
ECI方式導入の成果

- ①技術提案書等を元にした関係者会議（発注者、設計者、施工予定者で構成する三者協議会）での具体的協議によるアリーナの実現
- ②基本設計段階に算出した概算工事費の1割強にあたる約20億円以上のVE提案を実現した実施設計図書の策定

CM方式導入の成果

- ①ECI業務受注者の選考支援（評価及び契約支援）
- ②各種会議において、諸課題の確認や事業コスト及びスケジュール管理等を中心とした業務遂行
- ③現場巡回時における細部のチェックから現場事情等に伴う設計変更要素の精査
- ④高度な技術的判断を要する局面で発注者の技術的補佐
- ⑤備品・什器類の納品・設置に関する調整役も担い、複数業者が混在する現場を整理

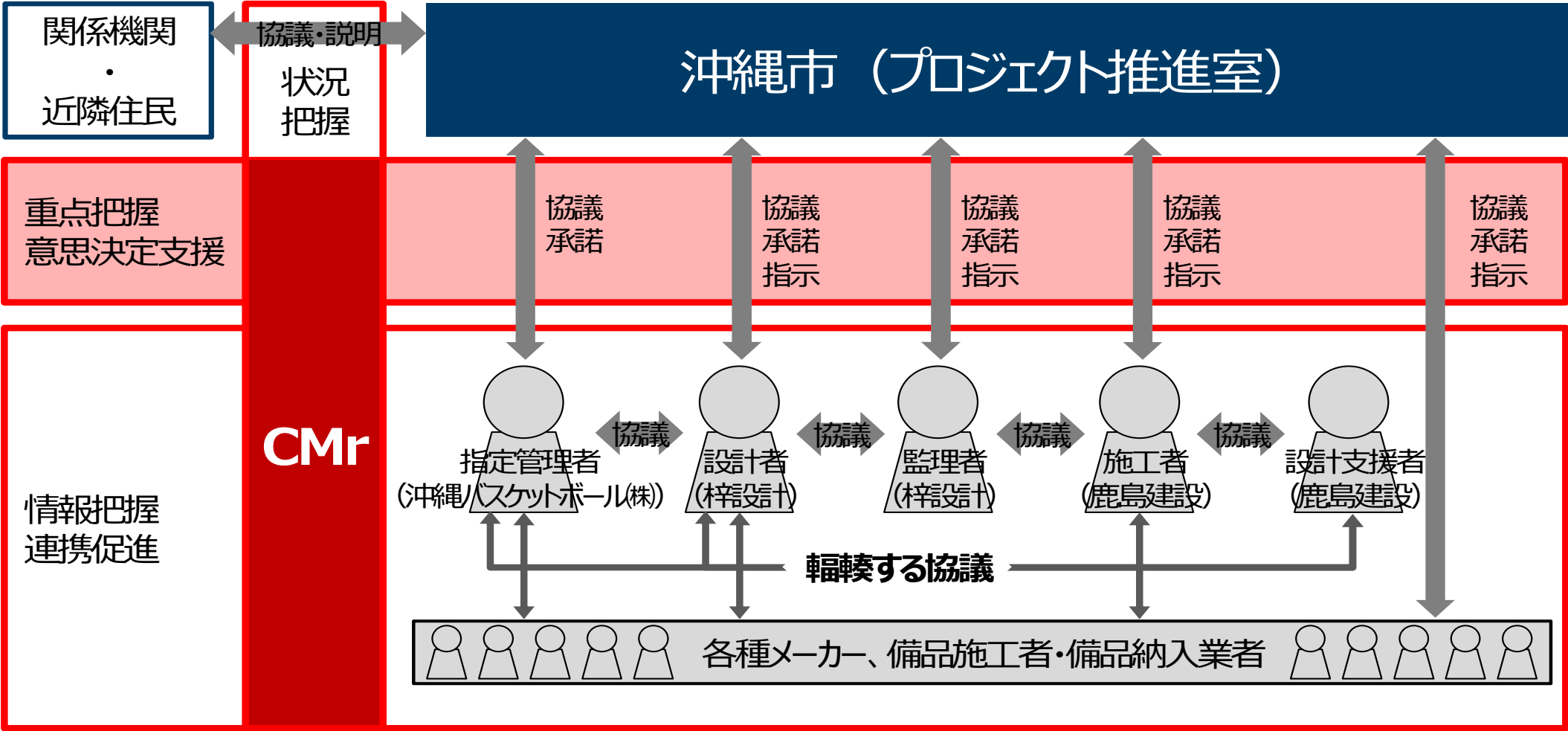
工事工程・安全管理・品質確保・コスト管理・全体施工計画等の技術提案（抜粋）



20億円以上のVEとアリーナの実現



課題 夢のアリーナを実現するチームとメンバー構成（輻輳する情報の連携）





課題 多岐にわたる関係者の立ち位置や優先項目への対応

	PJ関係組織	優先項目
発注者組織	沖縄市	議会・市民への説明、財源確保
	市議会	事業予算との整合性、市民への説明
使用者組織	施設使用者	使い易さ、観客の満足度向上
	施設管理者	管理し易さ、興行の仕掛け易さ
受注者・ ものづくり組織	設計者	遵法性、美観、グレード、ディティール
	本体施工者	高品質施工、無災害、施工し易さ

CMr プロジェクト全体を俯瞰的位置から捉える

- ・それぞれの立ち位置や専門用語に含まれる本質を理解し、関係する組織との共通事項を共通言語に変換
- ・PJ目標の共有化、全体最適となる意思決定ができる基準を事業主に提供





1 課題整理・意思決定を支援

来館者の観戦環境の向上やホスピタリティに配慮するという従来の施設とは大きく異なるコンセプト実現に対し、事業関係者でハード面・運用面からの検討が重ねられ、**CMrは、課題整理・意思決定の助言にて支援**しました。

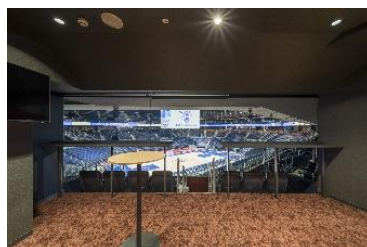
1. 快適性が緻密に計画された座席配置(BIMの活用)
2. 混雑を避ける配置・スペース・数が検討されたトイレ
3. 来客の流動を妨げないように計画された諸施設
4. より質の高い観戦環境が確保できるVIP専用エリア
5. 表舞台を支える充実したバックヤード



熱狂が伝わるすり鉢状の座席



座席配置やサイトラインの検証にもBIMが活用され、観戦環境や快適性の検証が行われた



災害対策も考慮された多目的室

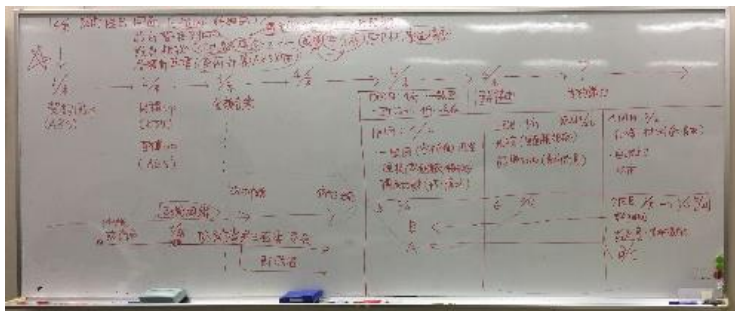


放映への対応も十分なバックヤード

2 限られた時間での目線合せ

限られた会議時間における確実な認識共有の実現に当たり、**会議の度に更新・追加される情報をCMrがその場でホワイトボードにまとめ**、視覚的な効果も取り入れることで、事業推進の目線を合わせました。

この手法は、基本設計から実施設計への移行段階、施工段階への移行段階のプロジェクト目標が曖昧な時期において、**関係者の意識・認識を共有し、手戻りや齟齬のない事業推進を可能**としました。

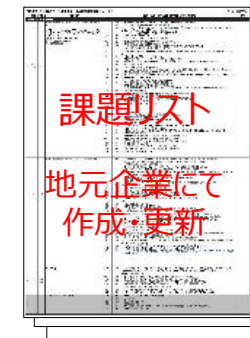


CMrが関係者の面前でまとめた情報と方針

3 距離と時間のハードルを超越

プロポーザル時点からの課題である距離と時間のハードルに対し、**地元企業と協働でCM業務を遂行する手法**としました。

地元企業との協働は、単にクライアントとCMrのリスクを低減するだけでなく、**沖縄特有の気候条件や慣習への対応、地方におけるCM業務の普及も目的**としており、CM業務における重点ツールの一つである「課題リスト」の作成・更新を担って頂きました。



沖縄特有の条件を加えた課題および対策を盛り込むことが可能となる

CM業務の根幹の一つである与条件の整理のノウハウを地元企業が実践できる



成果 多岐にわたる要望を収斂した施設の実現

1. 多様性を受入れられる施設

- ・格式高い式典開催と子供が遊び回ることもできる空間の両立
- ・非日常の楽しさと日常的安心を提供する沖縄市や関係者の要望を叶えた施設

2. 365日稼働が可能な施設

- ・ビルディング(商業・飲食エリア)、メインアリーナ、サブアリーナ、各種多目的室等、365日稼働が可能
- ・施設の事業を向上させる多くの機能を詰め込んだ施設

3. 求めるものと出来上がるものの齟齬のない施設

- ・専門用語が飛び交う建設現場において、用語が示す意味を関係者全体が理解しながらの事業推進



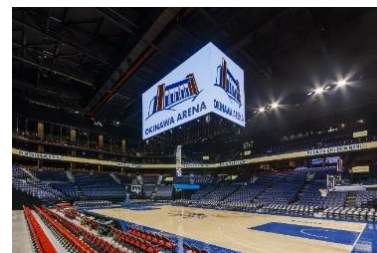
設計時のイメージ：賑わいと多機能性が企図された



竣工式における首相祝辞の様子



子供が遊び回る様子



“動く”センタービジョンは、要否、機能設定、イベント時だけでなく、日常時の使い方を含めた議論が重ねられ、**日本初の可動機能**が搭載されることとなった。
商業施設のみ稼働の際は、商業施設側に移動し、映画等を映す大型ビジョンの役割も果たす。



課題

施設計画のマインドチェンジの着実な共有と遅滞ないプロジェクト推進

基本設計案



展開性を内包する計画により、建物自体が大型であった

実施設計案



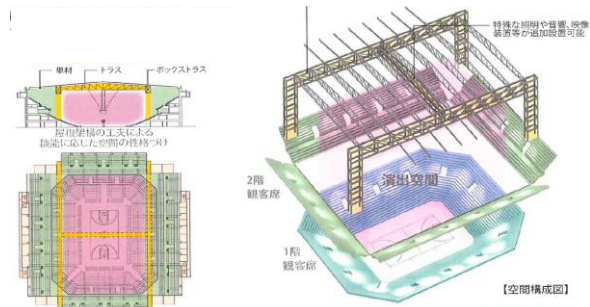
展開性を外部に出し、建物自体は可能な限りコンパクトになった

ECI

アリーナの大空間の安全を支える構工法（空間演出に寄与するメガトラス）

メガトラスの施工ステップを含め、施工計画の安全性・実現性について技術協力者から詳細な提案により、アリーナの特徴である大屋根による大空間が実現できました。

1. 短辺83m、長辺90mの大屋根
2. 室内大空間（屋根面まで22mの室内大空間）
3. 事例の少ないメガ柱とメガトラス梁による構造形式
4. 多様な演出設備や機能対応を可能とするメガトラス（カメラ・特殊照明・映写スポット・バックステージ等）
5. 内部でベント足場支保工にて仮受けする施工方式



事例の少ないメガトラス構法の実現に向け、関係者にて検討を重ねた



効果 重点工種の徹底したシミュレーションと現場巡視を通じた品質・安全管理

ECI 設計段階からの施工シミュレーション・工事ステップ検討

大規模アリーナ建設における特殊要因・重要検討ポイントについて、設計段階から検討を行い、実現性と安全性を確認し続け、無事故・無災害、工期遅延のない施工が実現できました。（各検討はBIMを活用）

- ✓ 超大スパントラス梁の分割・仮受ベント等の採用方法
- ✓ 鉄骨建方とPC床板、ダブルパック屋根の取付順序
- ✓ 大屋根トラス部における高所での安全な作業床確保 等できました。

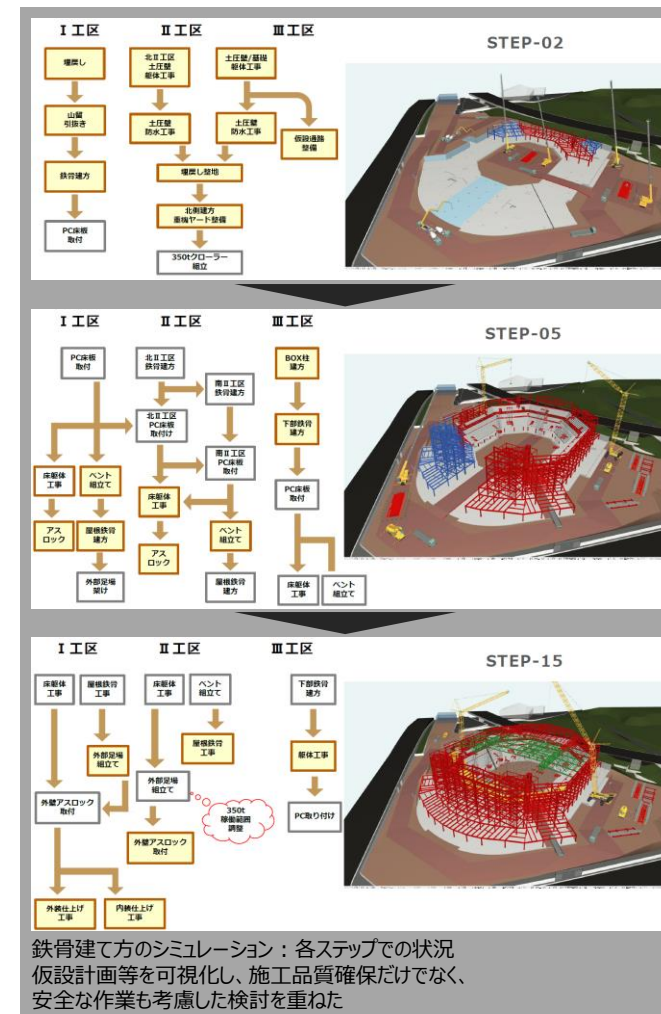
CMr 施工計画シミュレーションと実施の整合確認

CMrによる毎週の現場の進捗状況確認に加え、施工計画シミュレーションと実施の整合を確認し、確認結果を書面にまとめ、施工者に対して適切な助言を行うことで、品質と安全の向上が実現できました。

さらに、建物全体の品質（躯体品質、屋根・外壁に求められる止水性・遮音性・断熱性等）についても適時・適切に確認し、指摘事項を常にリストと状況写真とを併せて提示することで、高品質を実現できました。



日	場所	内容	担当者	確認
2018.10.10	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.11	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.12	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.13	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.14	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.15	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.16	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.17	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.18	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.19	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.20	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.21	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.22	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.23	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.24	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.25	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.26	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.27	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.28	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.29	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.30	現場	鉄骨建方	CMr	確認
2018.10.31	現場	鉄骨建方	CMr	確認





1 沖縄県内の特殊要因への対策

沖縄県では条例にて赤土濁水の敷地外流出の規制があるが、工事期間中の裸地範囲が広いこと、例年より多くの降雨やゲリラ豪雨等が予測されることから、通常の対策では流出が懸念されました。

市とCMr及び施工者による設計段階からの協議により、敷地内への仮設的な雨水貯留場所の設定や土嚢による流出防止措置、赤土処理機による、ろ過後排水方法等、適切な流出対策を実現できました。



土嚢による流出対策



特殊な赤土処理機

2 予測できない事への迅速対応

事前のボーリング調査や地歴調査では発見されなかったが、着工後、瓦礫混入土が発見されました。詳細調査の結果、当該1970年以前にごみ処理場所として利用されていたことが判明し、瓦礫混入土には、生活一般ごみの含有が想定されたため、土壌から有害物質は検出されませんでした。沖縄県内での処分では対応できないため、処分先を県外の九州本土とする方針を市とCMr、施工者にて協議しました。

九州本土へ船便で運搬する費用を最小限に抑えるための搬出方法の検討、処分費用の財源確保のための補助金申請を計画し、CMrにて金額の妥当性検証を行い、無事に瓦礫混入土の処分を実現できました。

3 資機材納入の遅れ対策

2019年の台風により、県外からの建設資機材の納入遅れが顕著となり、工期延長の予測が表面化しました。竣工後のイベント開催への影響が危惧されましたが、CMrにて延長期間の精度を検証し、適正な竣工時期を提案することで、不用意な工期延長を防止しました。

4 緊急事態宣言時も事業を継続

新型コロナウイルスの感染拡大により、2020年4月から緊急事態宣言が発出され、事業推進に重要なコミュニケーションが疎遠となる可能性があります。

CM業務を協働していた地元企業による対応、web会議の活用等により、事業推進の遅延を防止できました。

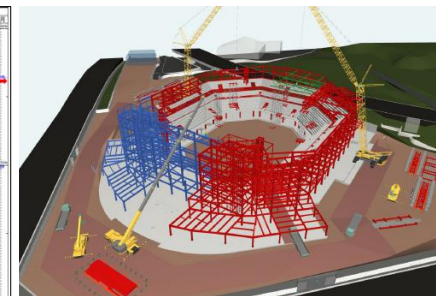
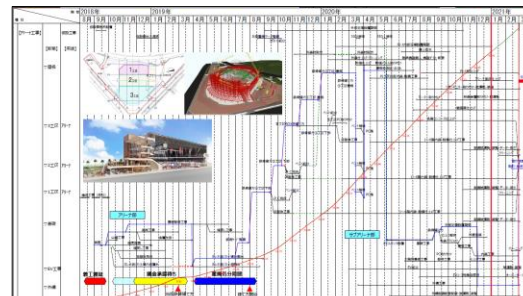


成果

幾多のハードルを乗り越え適切な工程・コストを実現

1. 特殊要因以外の工期延長防止・工事完成期日遵守

- ・大空間トラス梁架構等の事例の少ない工事に対応した
災害予測・予防策の先行検討による災害発生防止
- ・施工スケジュール・補助金執行の事務スケジュールの
両面において、特殊要因以外の工期延長を防止



2. 適時適切なコスト管理徹底・建設コストの増加を抑制

- ・技術提案や設計者・施工者のVE提案の適切な取込み、
現場進捗による実状に即した設計変更対応等



3. 適時の意思決定促進による順調な工事推進

- ・施工段階の発注者組織の技術的支援により、適時の
意思決定を促し、順調な工事推進を実現

綿密なシミュレーション(BIMを活用)の通りに施工されていく現場により、不測の事態の発生が抑制され、コスト圧縮も可能となる。

効果 コスト・品質・地域貢献を実現する備品発注戦略

CMr 備品発注における地域貢献・コスト圧縮

一般備品(家具、カーテン等)の他、特有備品(スポーツ備品、アリーナ床材等)や“魅せる”アリーナを特徴づける備品(サイネージ、スピーカー等)の発注は、本体工事との物理的な取合い、工事・搬入工程等、多くの調整が要求される一方で、公共工事としての地域貢献やコスト圧縮への配慮も求められました。

CMrは、発注規模・金額、地元企業(県内・市内の代理店等)の受注可能性等を検討し、適切な発注パッケージを実現しました。

1. 発注の目的に適した方式(プロポーザルと入札)の使い分けによる8項目11個の分割発注
2. 地元の会社を中心とした受注・コスト・品質の確保

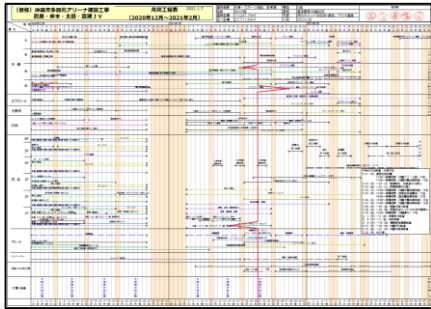
CMr 本体工事と備品工事の調整による予定開業

本体工事完了後、速やかな開業の実現を目的とし、本体工事期間中に施工することが必要となる備品工事、竣工検査後に行うことが必要となる備品工事の各項目について、内容および工事工程の整理が必要となりました。

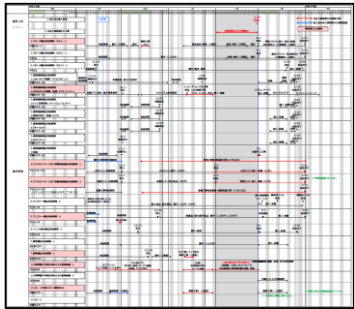
CMrは、本体工事との工程重ね合せや調整を市および設計者、施工者で行い、多岐に渡る備品工事施工者の遅滞ない業務遂行を実現しました。

発注項目			発注方式	受注者	本体工事への影響
スポーツ備品供給業務	その1	ゴール他	入札	地元企業	★
スポーツ備品供給業務	その2	スポーツフロア他	入札	地元企業	★★
通信機器備品		Wi-fi・LAN	プロボ	地元企業JV	★★
デジタルサイネージ／音響機器備品		モニター・音響他	プロボ	大手メーカー	★★★★
ファニチャー備品		家具・家電他	入札	地元企業JV	★
イベント機材備品		スモークマシン他	入札	地元企業JV	★
厨房備品		厨房機器・戸棚他	入札	地元企業JV	★★★
カーテン備品	その1	遮光ロールスクリーン	入札	地元企業	★
カーテン備品	その2	ロールスクリーン	入札	地元企業	★
カーテン備品	その3	カーテン	入札	地元企業	★
AED・消火器備品		AED・消火器	入札	地元企業	★

発注方式、受注者、本体工事への影響を分析し、分割を検討



竣工前の月間工程（本体工事）



開業までを表した各備品工事工程

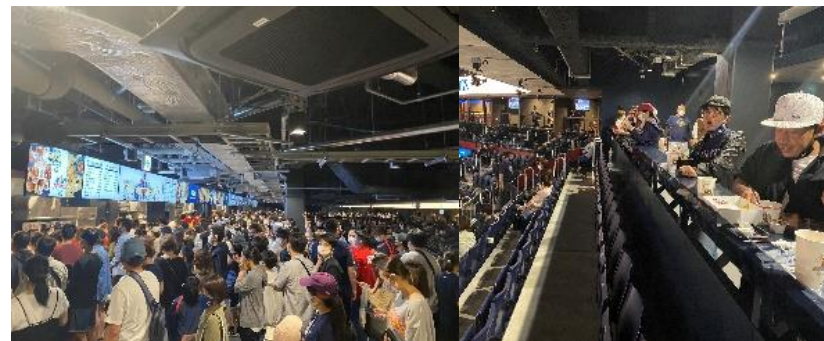


成果

建築空間と備品計画が融合した魅力ある施設の実現

1.開業・運営上、必要な全ての工事を完了し、予定通りの開業

- ・設計時より施設運営者を交えた協議実施
- ・建物竣工から1か月というタイトな期間で、開業・運営上、必要な全ての工事を完了



購入待ちや飲食をしながらでも観戦可能

2.空間設計と備品計画が融合した魅力ある施設

- ・「どのように使うか」「どのように見せるか」「どのようにサービスを提供するのか」の綿密な調整



音響と映像は常設・備品・仮設が連動



ホスピタリティも意識された諸施設



成果 “多岐にわたる要求の実現”と“県内初の取組みの成功実現”

関係者要求の実現

プロジェクトに求められたことを全て達成

1. 建設費用の約90%を補助金にて獲得
2. バスケットボールだけでなく、フットサル、卓球、バレーボール、音楽イベントにも対応する機能
3. 365日収益を上げることのできる施設計画
4. 備品類や次世代技術等、新規分野への補助金の獲得

CM業務の拡大

県内初のECI方式・CM方式採用の成功

1. 県内の様々な公共事業からの提案要望
2. 県内各種公共機関から、沖縄市へのプロジェクト推進に関する問合せ・見学会の実施
3. 特殊リスクの先読みと迅速な対策による最速の施設開業
4. 地元企業との協働とCM技術の普及



“魅せる”アリーナと“安心”の防災施設
未知の施設を実現する道を整え、
チーム全体で歩む

アリーナ事業のフラッグシップの誕生・県内のCM方式導入拡大



NIKKEN
EXPERIENCE, INTEGRATED